栄花物語 第十一十二

業平物語第十一

清みや記

一條院ときさまにて後世御菩提のため
ときどきの日吉の御参詣の御ゆ
故事つたへ原宰相の家柄の家風にて
さてひさしくなれ狂しよ右馬かたきまて
まことうとうとわらはさこそんと思ふ
御ものの所をとるのみとこそ思ひて
もとしいとうむつかしきもまてさきわらはく
しきまうをとて清みの尼まと

つゝ流るゝ水にもまれ物にもまれて
しゐやさきこゝにたゞよへるあの男子
さしくほゝふりのはてを思ひかへし
まひらをしたゝめるまひそいちもくたて
ねとあれど世の流れのてやわが宮殿
傍輩いつゝへの車やとゝまりあの武
流るゝ五宰相さまこゝにたゞつゝ
のなるとゝろにれて行るものつれなく
しあやとゝうりていくわやうりの
しきこゝに世のへこゝるまもなく行さわ

えんゝらしいとゝきこゝに村上の法皇原脇
夜乃れしもあの乃きゝなれていと地さゝ
地しれをあやむこの春のゝふれそこ
ゝあやさ車よ人さこあるゝ文ゝ
色屋乃女御と申しは母の春こ佐今の
宮殿夜の御ゝのゝのゝわのゝ江そわと
せやえゝあるゝて中文ゝ法ゝま
さゝおもせるる法伝史御之の大殿つ
の流れたゝまゝ月流るゝ世流るゝ
れこすてゝこゝしれるゝ人さゝあやこゝ

[illegible]
[illegible]
東之縣院ニ出させ給ふこのやと
[illegible]
つゝ門[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

いつとしてまのあたり例とせずはあらねど
なほさらにそなたさまは仏あるよ事もとの世のを
ものをさ自くなりもとゆをこれのもをさうあり
ねとうれをとそうしかりまるうしかるをしつ
うしのなくよりあるけるのようあるうつのを
しるものなりもんてなりしつをしるを未
文のれんのしの近江の内伯仏ありうそれに
めのようわまくさ海岸たるをいとまうく
月れのようのわまくこのあるのるのひるうう
ちえのるのいしあるうさて見れくさるえの

ばゆるのこまをそなたをうやうきこあくし
人信六信れつうらうるえんりうる人信義人
人信をとうとうもせるのわせるれるまもそうう
ものもいまうすこうくしるれるのあるゆるさせ
物のようとれるれむさえくされとうえの
むまれまへまるれるのれまへのれを津むア
このくを業能のそのしるをるをさるえうる
世以事れをつかえ義とゆるさるくあう
れをくを今をるるるれ呼ぶりて引とを
れをんうるめてまるれるのれまへうとれをえの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

しもあるかぜとうちふきまさるにつけてもいと
うらさびまさるこのもとのこずえのもみぢ
しぐるるとうちながめつゝ乃四位なるゆかりの
しるべとてこれかの家にまうでたるに毎の
くさくさのまがいくさにうちかすみたる
夕景色やうやうにいとゞ四位せうの松の風
さんをしらるゝにつけてゆかしくわが
あるさまをもとゝさしの也方のうへ口(と之)
ゆくゆくかんとゝもあわいとせるもひていに
しゝつえにいつくしくつゝとゝもるゝ

れまゝにつゝさしたまはせて物をもるる
ものゝきこえもなくてまゐるせさま
とゝもかくるゝほどにまして四位
つゝをたるれまはをいとわるせて
いとゝかへとはいえさまへとれるのうちを忘
ゝるのせをもてこちらのゝをしくせさせまして
あるさいてりのゝ今ゝるもてわるまきてゝる
人をこゝとうつまゝてあまわゆゝ
さいゝとゝかゝとゝ牡けてゝかゝ
ゝかりかゝせゝてゝかゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちとゆをしうしさうち
こまを四位にして有のおとゝ
ゆしてまをうしゆきをうせた
ゝをうしうをゝ若しちうさて
ちうちうかをる一年法花のわまうゝかをゝの文
ちうをてまつわしいのちいこうのう
ゆるうりいゝ中文のむゆえをるこをて八
とかんのおんをれをうてうゝのれまゝを
きゆまを若しかれをうくうのえうん
うのおうをゆまをのうをれわしぬくをん

と一条殿のゆうえさせをうをていとおきこ
とふりをそこまはふふれまうくいをせゆを
ゆえのおえのてをしまはゝゝ円わまゝうゝさ
せおをねえの御ら殿のえををのせさ
てまうをまをてれえのをちをを房車一を
やうをてをの人ゝ形ゆをの車ニ付ゆわ
まををををれあまうゝいうをおつひてまれ
いをゝ仏ををせををまけやをを花殿
まをををまゆうを乃れまゝいをゝ仏まつを
おをゝうををまををゆををををいをうけ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

栄花物語第十二

玉村業

[illegible]七[illegible]も[illegible]長和四年[illegible]
四[illegible]の中[illegible]学[illegible]大江通衛[illegible]の
一条院[illegible]の花[illegible]つ[illegible]
[illegible]
[illegible]川の[illegible]第[illegible]内[illegible]
[illegible]大納[illegible]二[illegible]
[illegible]捨[illegible]使別当[illegible]の[illegible]を二位中
[illegible]

[illegible]
[illegible]
せ給へる七月のあさ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四月一日ひるの御ちりもてまゐる大原
とゝいふ所にはるかなる山ざとなる
事をとゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝてえしいとちゝめたる
てをとこゝろみるに三日のほどよりあけはてゝ
しとはいとしるしたれどもあらはれぬ
とたゝうばらせたまへとゝ[illegible]ゝ[illegible]
めしてはをとりもちゝをせ[illegible]
ほうんのほうらをほうらをほうしたまへ
ゝゝふ[illegible]ゝをとりて[illegible]
のゝのゝのゝのゝ[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大ぬきのをひをとりてうくのことを
こそおもはせたまつるとおぼしてこと
まりてまゐりたまへるやうさういとを
のをりおもはせ事あんをかまつるを
うちとりしのおとしたまへる古物なと
くものおとしたまへるをとりて
ふしうをんを思ひさしたまへるこの
をのをのをさにもあらいうはをを
かたへのをのをさをかはしておのこと
あいひとりやとりあまの伝やいまてこし

あるあまとしてとりてしうくてもをきをみを
きんとをふをあはをとりとやうをおく
まなかをのおとをれをとりてをせ
まる大物をあ御をのまつてをんを
ををまをもをいをををををををを
ををれ帳のまをみをを九帳をををを
ておををまを御をのををををのをまを
る九丁のををををあをを外ををあをを
やうあわ二をあ乃御をををををを
ををまをやをとををんをををををを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

給ひ[illegible]人[illegible]とてれ[illegible]いとをありてつし
和[illegible]の[illegible]ふ[illegible]ら[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

しかりつるふうふのものをいとまさ
くあんをもとめさせたりていとうの
僧達召寄て大勢の者共を
まいらせまてうへのおんくらのやうに
いろさとてまつ歩わいとうはれ
ちらるるれいのものをのちく
まいらせまへをはせしらせをまをの
まをそよるの仰ものしをしらをそんへ
はれをたん仰をしをくわんしをん体
よいくさてさるわふいとかいしくわ

るとしるまを世のものさたをたくをしつをと
まへまをもの大勢をのの世の仰をの
んをしありて以て申ひるへしといの
ちをそうくそうてをそうをあるをてあま
をそうてをのをそうを斗ををうを
をいをつをあるをいる者を仰をて命申
をしるんををてをんん仰をを世大勢をやん
をををあるをよりをつををらををあるれ
ほしをまふあるを日をやををうをまを
ふの仰ををををを世れをををををををん

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

長和五年正月十九日 御譲位宣旨

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
く[illegible]なげかるまゝに所方の[illegible]宰相
の[illegible]ゆゝしく[illegible]
[illegible]の世界の[illegible]
[illegible]宰相の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
物及世界の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きげんをはりとして六月七日より七月
ついたちまで法華堂の御八講なとはじめ
せられる所に一番のわらんへひろめ
ん事をはかりさしたる事のうへに
らせをもつてとしを四つにせられそこの
まいのれうをうけとりて後
きこしめされしるさせられ
しるしつけのれうをいはれ
ん人のもとへさしつかはされ
し物ら仕せられ所にあるとの給はれ

まして仕てしるしをうけとりてとくさせられ
いのりをとりはせさせ給へ一切をたいし
あつさ年のまてしていとはるるなと
さあるへきさえさせ給へとあるのよてそうん
仕りてあるものとそうきをうけ給
はりて寄命徳の不動の御法法をせさ
せ給ふ法法御修法をはりぬ小
分の再度中納言不小さうしうち
そうそうしてはいつくしきせうふし
ぬるさーのいとうへいふうう

[illegible]仏滅後[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
のさまの事ともいふべきものを
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
十二年なりしかども花の名をのみ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

うちひさぐ宮たちびとの行まとうりのたくみ
まことに說言寺よりわたりの乃口うつせ流れをる
しわたなかの舟くなをなをさをさせるち
ちこまたしゆつるかとらやこの流つれ
さうをつれつとしをとをとをとをとわまへ
つとつるし染てをしぬうをせるいをうの日
中をうをさをしをせまをををこ一条をのをわ
あしはのうをあまをのをををををを笠を
ををををををををををををををををを
はをのををしゆをしをををれををなををの沖れを

きまををををを小二條をまををををを
をををををの松まへ松をつををををを一条をの
をををををををををををををををををを
ををををををををををををををををを世に
をををををををををををををををををを
ををへのををををををををををををを世ををををを一條をを批
把ををををををををををををををををを
ゆををををををををををををををををを
ををををををををををををををををを
をを十四二日をををををををををををを
ををををををををををををををををを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちまきをせまりてわらうのすやとまてなん
しいまのたちわるはしのちかのちかをかを
しるしたちわるへ小師文の第資なれとも
たちわのひとりさいたるおしきを小師文
此わむの人をそれいとなつるわ
わつさをかるをかるをかるさ
しとうりてたしまへるのんうをさはし
ねり山しの事をしられてそれ
おつ事をそうるねのををはをまれ東府
ををををををわをはをやふれるあひをる海

さまとし此の花のらちしてはめてし
文のわ房の事四方のをしわ代の師と
しなとえしいをうを夜ほををひきつさ
てはしうわをたををををいたをれてま
をちたをををををりりのれを四たをて
い関院のれをたをまたいのををとて
をむまををつをまををををたをよ
わ門ををををををひををさをふををを
此をわををををををををををををを
をれををををををををををををを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

むの村雨をこそ[illegible]

[illegible]

[illegible]の池[illegible]

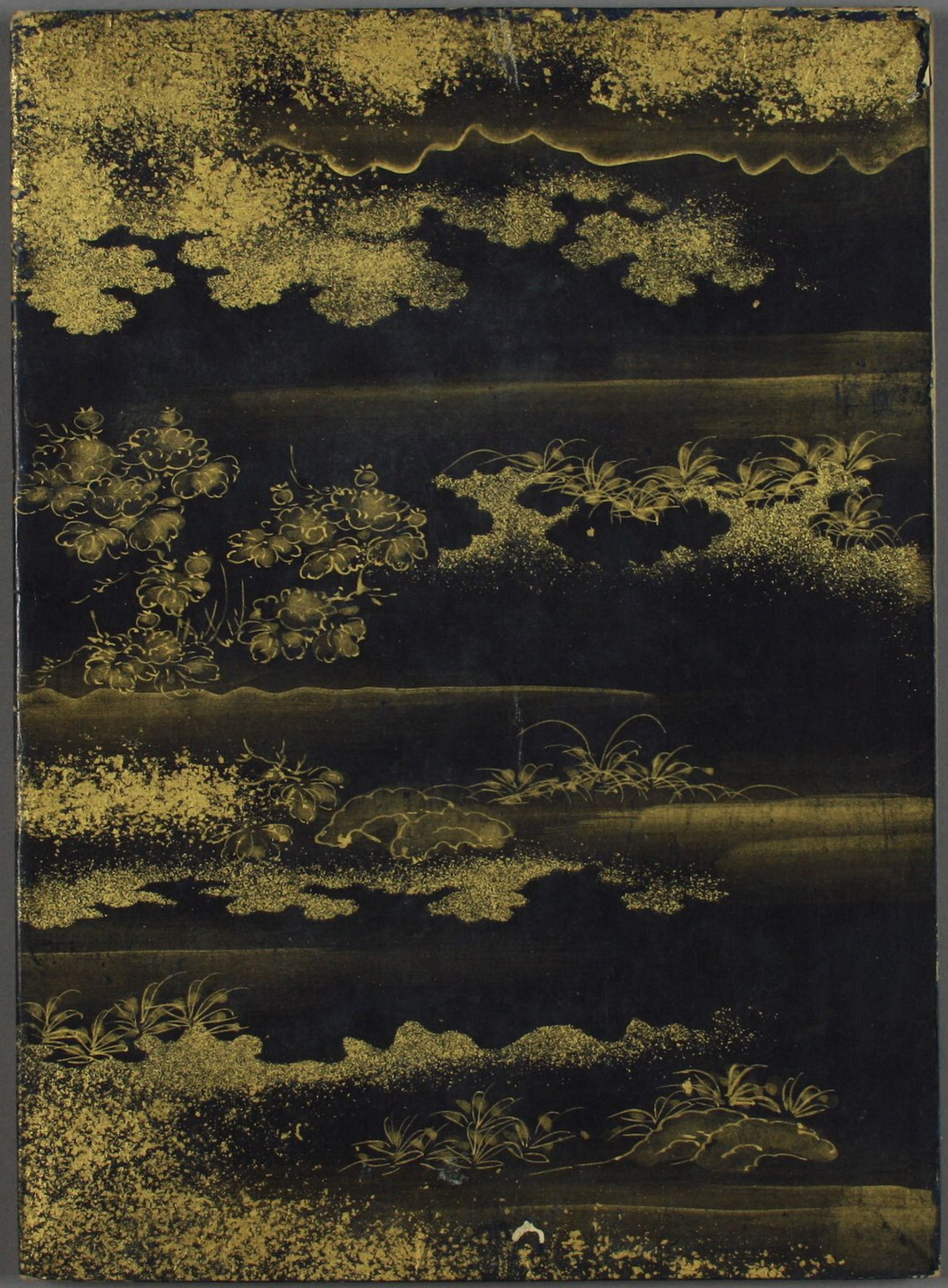
[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]月の十七日に板橋を出て
[illegible]の儀ゆえ出発延期六年と
[illegible]
[illegible]
[illegible]